

宮私幼 だより vol.146

しらとり幼稚園

巻頭言

東北地区教員研修大会について

今年の8月は記録的な長雨続きで、9月1日の東北地区教員研修大会の天候が心配されましたが、幸いにして、天候に恵まれ、無事に終了できましたことに安堵いたしております。塩釜・多賀城地区の先生方には、道案内、会場設営、受付、公開保育、分科会、昼食の準備等々、忙しい一日を本当にありがとうございました。関係者の皆さんに改めて、御礼申し上げます。2日目の多賀城市文化センターでの開会行事には県副知事はじめ国会議員の方々、近隣の市・町長の皆様、県PTA連の役員の皆様、全日本私立幼稚園連合会の香川会長にもご臨席を賜り、盛大に開催することができました。祝辞の時間が十分に取れなかったことを反省しています。記念講演として、東京大学大学院教授の遠藤先生には、非認知活動の重要性について語っていただきました。帰り際に、経験豊かな先生が「これまでの保育実践が間違っていなかったことを証明していただき、ありがとうございます」と遠藤先生に感謝の言葉を述べられていたことが印象に残りました。

2歳児の受け入れ、幼児教育の無償化について

8月7日の新聞報道によりますと、来年度から、待機児童の一環として、2歳児の幼児を幼稚園で受け入れることが検討されております。詳しくは、選挙後の12月頃になると思われます。保育の方法、補助金の有無、市町村の関与、施設の改修、定員、給食の提供等、詳細が公表され次第、緊急の園長会を開催したいと考えております。

先日、東京で全日本私立幼稚園PTA連合会の全国大会が開催されました。来賓として、安倍総理、林文科大臣、多くの国会議員の皆様にご出席を頂きました。安倍総理の挨拶は幼児教育の無償化を確かなものにしたいということでありました。幼児教育振興法も含めて引き続き関係機関に働きかけを行うという宣言文が採択され、閉会となりました。記念講演では、なでしこジャパンの前監督佐々木則夫氏の目標達成へのプロセスと題した貴重な話を聞くことができました。



宮私幼理事長 村山 十五

Close・up 理事会

平成29年度宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【平成29年度第1回理事会】

- 日時 平成29年4月19日(水)午後2時～
場所 宮私幼会議室
- 議事
- (1) 「幼保連携型認定子ども園 やかまし村」の入会申込及び退職手当資金給付事業への加入申込みについて
 - (2) 「ろりばっぷ小規模保育園」の入会申込及び退職手当資金給付事業への加入申込みについて
 - (3) 研究協力委員について
 - (4) 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)の進捗状況について

報告事項 その他

【平成29年度第2回理事会】

- 日時 平成29年5月15日(月)午後2時～
場所 宮私幼会議室
- 議事
- (1) 平成29年度第1回定時総会の議案について
 - ①平成28年度事業報告について
 - ②平成28年度一般会計・退職手当資金事業特別会

- 計決算報告並びに監査報告について
 - (2) 報告事項について
「東日本大震災義援金」の状況について
 - (3) 松ヶ浜幼稚園への感謝状贈呈について
 - (4) 新入会員の紹介について
 - (5) 第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会について
 - (6) 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)の進捗状況について
- その他

【平成29年度第3回理事会】

- 日時 平成29年7月25日(火)午後1時～
場所 宮私幼会議室
- 議事
- (1) 地区別設置者園長会議について
 - (2) 「幼稚園教員の人材確保支援」に関するアンケートについて
 - (3) 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)の進捗状況について
 - ・参加人数と各分科会への参加人数について
 - ・来賓及び分科会打合せ・懇親会の参加人数について
 - ・大会要項と大会収録について
 - ・本日2時から開催される実行委員会への質問・提案等について
- その他
今後の予定について

事務局だより

○関係機関団体

- 5/10 幼稚園等新規採用教員研修会(県総合教育センター)、仙私幼総会(旭ヶ丘市民センター)
5/11 10年経験者研修(県総合教育センター)
5/18 仙私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
6/1 宮私幼PTA連合会総会(仙台市民会館)
7/4 県新任研、10年研(県総合教育センター)
7/6～7 第57回政令指定都市私立幼稚園団体協議会仙台大(ホテルメトロポリタン仙台)
7/28 私学審議会(宮城県庁)
7/31 幼稚園教育課程宮城県説明会(宮城県行政庁舎)
8/2 県新任研、10年研(県総合教育センター)
8/3 県新任研(県総合教育センター)
8/9 仙私幼設置者・園長会議(旭ヶ丘市民センター)
8/10 県新任研(県総合教育センター)
8/21 県新任研、10年研(県総合教育センター)
9/14 仙私幼教育振興大会(イズミティ21)

○全日私幼連

- 4/6 東北地区会監査会(宮城)
4/25 常任理事会(東京)
5/9 理事会(東京)
5/24 定時総会(東京)
6/13 常任理事会(東京)
6/23 第25回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会(秋田大会)
6/24 第1回東北地区会(秋田)
6/27～28 ECEQコーディネーター養成講座(東京)
7/3 認定こども園特別研修会(東京)
7/16～17 免許状更新講習<第1回・必修・選択必修>(東京エレクトロンホール宮城)
8/11 免許状更新講習<第2回・選択>(東京エレクトロンホール宮城)
8/12 免許状更新講習<第3回・選択>(東京エレクトロンホール宮城)
8/18～19 幼児教育実践学会(札幌)
8/31 第32回東北地区教研大会(宮城大会)運営委員会、分科会打合せ(多賀城市)
9/1～2 第32回東北地区教研大会(宮城大会)公開保育・分科会開会式典・記念講演(多賀城市)
9/1 免許状更新講習<選択>(遠山幼稚園・遠山保育園 他)
9/2 第1回ECEQコーディネーター更新講習(宮城)
9/8 常任理事会、臨時理事会(東京)
9/25 PTA連合会全国大会(東京)
9/26 人材確保支援アプリ運用に伴う操作方法講習会(東京)
9/28 102条園研究会議(東京)

○東北地区教員研修大会会議

- 実行委員会 5/12、7/25、8/17
研修部会 5/23、5/25、6/12、7/19、8/7、8/8、9/19
公開保育担当者会議 6/21

○宮私幼のあゆみ

- 4/12 広報委員会
4/14 総務・給付委員会
4/19 理事会
4/21 研究委員会
4/27 総務・給付委員会
5/8 研究委員会
5/11 常任理事会、総務・給付委員会合同会議
5/12 監査会
5/15 理事会、広報委員会
5/18 経営委員会
5/29 定時総会(東京エレクトロンホール宮城)、総務・給付委員会
6/5 経営委員会
6/14 常任理事会、研究委員会、地区研修担当者連絡会
6/15 総務・給付委員会
6/30 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
7/3 研究委員会
7/13 宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会・PTA研修大会(東京エレクトロンホール宮城)
" 総務・給付委員会
7/14 経営委員会
7/24 研究委員会
7/25 理事会
7/26 10年経験教員研修会(東京エレクトロンホール宮城)
7/27～28 新任教員研修会(戦災復興記念館)
8/7 園内研修の進め方研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/8 ファシリテート研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/9 仙台地区設置者・園長会議(旭ヶ丘市民センター)
8/10 主任研修会(東京エレクトロンホール宮城)、塩釜地区設置者・園長会議(多賀城市：鳥膳)
8/18 気仙沼・登米地区設置者・園長会議(南三陸町：南三陸ホテル観洋)
8/21 名取・岩沼地区設置者・園長会議(岩沼市：岩沼南こばと幼稚園)
8/22 大崎地区設置者・園長会議(大崎市：芙蓉閣)
8/23 石巻地区設置者・園長会議(石巻市：ひばり幼稚園)
8/24 新幼稚園教育要領研修会(東京エレクトロンホール宮城)
8/25 仙南地区設置者・園長会議(柴田町：熊野幼稚園)
9/6 総務・給付委員会
9/13 研究委員会

○慶弔

- 5/21 伊藤 正則 氏(利府おおぞら幼稚園 前園長)ご逝去
9/12 小野 榮助 氏(清水幼稚園・利府幼稚園 前理事長)ご逝去

平成29年度 第1回定時総会

平成29年5月29日(月) 会場：東京エレクトロンホール宮城

総会に先立ち、平成29年3月18日にご逝去された中田幼稚園代表役員荒川周智様、平成29年5月



21日にご逝去された利府おおぞら幼稚園前園長伊藤正則様に哀悼の意をこめ黙祷

を捧げました。

鎌田文恵副理事長の開会の挨拶後、村山十五理事長が、挨拶で「先日、東京で全日私幼連総会が



あり、文科大臣にお会い致しましたが、幼児教育振興法には、触れずじまいで終わってしまいました。国会議員の方々は、大

変忙しく、特に文科省の関係では、身内の始末で大変なようです。法案は、提出しているので、いつかは可決されるのではないかと思います。9月1日、2日は、東北地区の教研大会があり、塩釜地区が公開園として開催されます。多くの方に出席いただきたい。」と述べられました。

その後、平成29年3月に、松ヶ浜幼稚園の廃園にあたり、長年のご功績に宮私幼から感謝状が送られ、加藤信勝先生より「松ヶ浜幼稚園は、昭和



33年に松ヶ浜保育園として開園し、今年で58年目になりますが、震災以降人数が減り、出生率が悪いことなどにより、これから先、あまり伸びることも考えられないなど、諸事情を考えて認可書を返上し、突然辞めることにしました。東北大会などを控えて塩釜地区の方々にはご迷惑をかけます。長い間、ご支援いただきありがとうございました。また、このような感謝状を頂きましてありがとうございました。」と挨拶されました。

来賓の佐々木幸士宮私幼PTA副会長より「PTA連合会も先生方と幼児教育振興法の実現の為にしっかり歩んでいきたい。また、補助金のアップや幼児教育のありようなどを県政に伝えたい。」と心強いお言葉を頂きました。続いて、来賓の私学文書課中村今日子課長からの挨拶では「故郷宮城の復興・復旧が確実に進んでいることに喜びを感じている。また、認定こども園の移行を促していきたいことと、教員の処遇改善などの補助率の明確化を国に働きかけていきたい。」という話を頂きました。

次に議事に入り、議長として、岩沼南こぼと幼稚園の小川せつ子先生としげる幼稚園の小野寺靖子先生が指名され、議事録署名人としてあけぼの幼稚園の島谷京子先生と塩釜ひまわり幼稚園の江湖貴恵先生が選出されました。議事は、議案書に基づいて進行され、第1号議案平成28年度事業報告、第2号議案平成28年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告が一括審議され、異議なく承認可決されました。報告事項としては、「東日本大震災義援金」の状況についての報告がありました。その他の事項について村山理事長より「県は常勤の教員に対して、処遇改善1人あたり3万の補助を考えています。4月にさかのぼって支給するか賞与で支給するか、どのような方法で、何人の先生を対象に行うのかよく調べ、出来るだけ多くの先生方に、処遇改善をしてほしい。」という話がありました。そして、「花のおさなご」の斉唱をし、佐藤宏郎副理事長の閉会の言葉で、議事の一切を終了致しました。



(関 澄子)

平成29年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会 第46回宮城県私立幼稚園・認定こども園PTA研修大会

大会スローガン：「次代を担う子どものために」～ 子育ては、親と地域と幼稚園～
平成29年7月13日(木) 会場：東京エレクトロンホール宮城

＜第1部 振興大会＞

初めに、村山理事長が「夏休みは、早寝早起きをし、食事に気をつけ元気に過ごしましょう。認定こども園では、（保育時間が異なるので）夏休みの対応など難しいところもあります。これからも保護者の負担軽減を図るために関係機関に要請していきます」と挨拶されました。続いて、佐々木幸士宮私幼PTA連会長が「人間形成の基礎である子どもたちを社会全体で育てましょう。明日



を担う子どもたちのための充実した環境に向かっていくように努めます」と述べられました。来賓として、県知事代理の山田義輝副知事が、「幼児期は人間形成の基礎を築く時期です。＜学ぶ土台づくり＞で教育環境を整えていきます」との知事祝辞を代読されました。次に、宮城県議会議長代理として長谷川洋一副議長が「幼児教育振興法の成立に向けて活動しています」と述べられ、続いて深谷晃祐宮私幼PTA連副会長により来賓の紹介と祝電が披露されました。



最後に、高橋潤宮私幼理事と畑山志穂宮私幼PTA連副会長により、大会宣言が読み上げられ、佐藤宏郎宮私幼副理事長の「家庭での教育が基本であることを再認識して、外注するようであってはならない」との挨拶で閉会しました。



大会宣言

私たちは、次代を担う子どもたちが心豊かな人間として成長することを願い、子どもたちにとっての最善の利益を実現するため、家庭教育の向上、幼児教育の振興を図ることを目的として、子どもたちがはじめて出会う学校である私立幼稚園・認定こども園と手を携え、常に努力することを宣言します。

一、子どもたちの教育の原点が、家庭にあることを再認識し、家族が協力し合って絆を深め、家庭が子どもにとって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努めます。

一、私立幼稚園・認定こども園への公的助成、特に保護者の経済的負担を軽減するための運営費補助金の増額及び教職員の処遇改善、並びに幼児教育の無償化を強く求めます。

一、東日本大震災により被災した方々の一日も早い復興・再生を願いつつ、地域の人々との絆を深め、安心して暮らすことのできる地域社会づくりの支援に努めます。

＜第2部 研修大会＞

「ハッピーがいっぱい！ママも子どももお片づけ上手」
フリーアナウンサー（整理収納アドバイザー）

阿部 静子氏

＜第一部 ハッピーお片づけの基本＞

片づけのハッピー効果は、①無駄遣いが減り、節約できる②ママの自分時間ができる③イライラが減り、笑顔が増えること。大切なのは、物を減らすことで、これができれば片づけは成功です。NGポイントは、収納ボックスを買わないこと。買うと片づけが終わった気持ちになります。また、どこから片づけるかがポイントで、押し入れや写真は難易度が高いので、後にしたほうが良いです。引き出し一段など、簡単な所、思い入れのないところ（ただでもらった物など）から始めます。まずは、玄関から片づけると、すっきりするのが良くわかります。玄関に靴や玩具があふれていませんか？玄関に靴を何足出しておくか。理想は、家族人数プラス庭履き用の一足です。一足出したら一足しようということです。子どもの玩具等はかごにひとまとめにするとすっきりし、ハッピー玄関になります。また、洋服・クローゼットの片づけのコツは、ママの洋服です。2年・3年・5年と自分で決めて、着なかった服は手放します。痩せたら着る、高かったから…という服をチェックします。一着買ったら一着手放して、タンスがパンパンにならない習慣をつけましょう。子ども服のおさがりは、お気に入りやきれいな物だけを残し、他は掃除等に使います。

＜第二部 子どもが片づけ上手になるコツ

～ママの魔法の声がけ&褒め上手レッスン～

ハッピーと言うと、口角が上がり、脳に楽しいセロトニンが出て、マイナス5歳に見えます。片づけは、子どもの力を引き出すパワーを持っています。ポイントは、子どもが片づけやすい下地を作ることです。①よく使うおもちゃ箱はふたのないタイプを②子どもの身長に合わせると自分でできる③分け過ぎない④ラベリングをすると片づけやすくなる（家族皆がわかる、書いてある以外の物を入れにくい）⑤手軽に作れるおもちゃコーナーをカラーボックス等で作る⑥幼稚園をお手本にしましょう。思い出の子どもの作品は、子ども



が好きな物を残し、捨てる物は子どもと一緒に写真を撮って残します。

◎ゲーム感覚で楽しく片づけましょう。

- ・1～2歳児は、箱に物を入れる遊びや片づけソング等からスタートします。
- ・3歳児からは、数や時間を取り入れた片づけにトライです。100まで数える間に片づけたら勝ち、またタイムをとって前日と比べるなど、勝ち負けを取り入れると頑張ります。

片づけパワーその1

時間を意識できるようになると、メリハリある生活を送ることができ勉強にも役立ちます。

- ・幼稚園に入ってから、「いるもの」「いらないもの」を子ども自身が自分で選ぶことにトライ！です。

片づけパワーその2

人生に大切な判断力がつきます。ポイントはママの役割で、見守り、一緒にすることです。またタイミングが大切で、食事前に片づけることが習慣化できると良いでしょう。「片付くと気持ちがいい」と感じると、キープできるようになります。居間をおもちゃで占領されないコツはエリアを決めることです。ボールハンガーを奥から入口付近に移し、子どもの動線を変えることで片づけが上手になった例もあります。夏休みの持ち帰り荷物は、補充をし、まちの広い紙袋に入れ、一ヶ所に置きます。

◎ママの魔法の声がけで片づけ上手に変身

- ・「片づけなさい！」では、実は片づけられないのです。「〇〇は〇〇に片づけて」と、具体的に指示します。
- ・また片づけたくなる褒め方は、♪シの音程で、「すご～い」「ありがとう」「え？もう終わったの？」「えらいよ」「ママ助かる～」（頑張ったね）「〇〇ちゃんのお蔭だよ」（ギュッ）
- ・子どもがうまく片づけられなくても大丈夫！

ママのハッピーな心の持ち方が大切です。初めはできなくても当たり前と思いましょう。「子どもの片づけは長い月日が大切」…と、笑顔で締めくくられました。（小川 せつ子）



全日本私立幼稚園連合会 第32回東北地区教員研修大会＜宮城大会＞

大会テーマ **こどもがまんなかの教育・保育を考えよう**

平成29年9月1日(金)・2日(土) 会場: 塩釜市・多賀城市・利府町・七ヶ浜町の10公開園 他

東北各地から約1,300名の先生方の参加を得て盛大に開催されました。

9月1日には、塩釜地区10園を会場に分科会・公開保育がそれぞれ開かれ溢れんばかりの先生方の参加がありました。今回の研修大会では、各分科会すべてがファシリテーションによるディスカッションを試み、キャリア等に関係なく多くの先生方の意見を引き出すことができました。同日午後5時30分よりホテルキャッスルプラザ多賀城にて懇親会が開催され、歌に踊りに、そして太鼓にと大変盛り上がりしました。2日には多賀城市文化センターを会場に多数のご来賓をお迎えし、開会式典が開催されました。そして、記念講演として遠藤利彦東京大学大学院教授により「子育て・子育ての基本について考える」と題してご講演いただきました。

本誌では始めに全体会を紹介し、次にそれぞれの広報委員が参加した分科会についてのレポートを掲載しました。広報委員の人数の関係からすべての分科会を取材できませんでしたが、詳細は後日発行される本研修大会の集録に掲載されます。



式典

会場内には、前日の塩釜地区10園の公開保育・分科会に参加された東北各地の幼稚園・認定こども園の先生方が引き続き多数参列されました。



佐藤宏郎大会実行副委員長による開会宣言の後、壇上にて全日本私立幼稚園連合会の香川敬会長より、「生涯忘れる事の出来ないあの東日本大震災から子どもと園を守り、その後も幼児教育の発展に力を



尽くしてきた幼稚園・認定こども園関係各位に心より敬意を表したい。また、待機児童が減らないご時世を鑑み、私たち私立園は決して待機児童が溢れる現状に便乗し、ビジネスとして0～2歳児を保育するのではなく、これまで培ってきた幼児教育を基点として、確固たる幼児教育を行う学校としての地位



を確実に築いてほしい。日本の幼児教育は、世界の冠たる教育であることを自覚して、幼稚園という名称に誇りを持ち、計画的に意欲的に幼稚園の運営にあたってもらいたい」との力強いお話をいただきました。

次に全日本私立幼稚園連合会東北地区会の村山十五会長より、前日の大会1日目の公開保育には、1,300



名を超える東北各県の教員に参加いただいたこと、また東日本大震災からの6年間、全日本私立幼稚園連合会参加の各園からの温かいご支援への感謝の言葉が述べられました。そ

して、鎌田文恵大会実行委員長よりごあいさつがありました。

その後、菊地健次郎多賀城市長の方来賓祝辞、前年度開催県である福島県への感謝状贈呈と続きました。



続いての永年勤続者表彰では、表彰者代表として仙台市の認定こども園福聚幼稚園・ふくじゅ保育園の園長である関澄子先生が「昭和51年の勤務以来多くの良き同僚の先生方に支えられ、現在園長として園の運営・教育に関わることができたこと、多くの出会いと多くのご指導に感謝し、今後とも与えられた役割を果たしていきたい」と感謝の気持ちと今後の抱負を伝えられました。



最後に次期開催県である岩手県の岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会の坂本洋会長より、来年度の東北地区教員研修大会の概要として、一関市と奥州市で10月19日、20日両日に渡り開催されることが発表されました。坂本会長は「今年度の宮城大会をお手本として、盛大に皆様を迎え入れたい、10月の行楽シーズンでもあるので岩手の秋も満喫してもらいたい」とごあいさつをいただきました。



結びに今大会の実行副委員長である根来興宣先生より閉会宣言があり、盛会のうちに第32回東北地区教員研修大会＜宮城大会＞を終えることができました。(高橋 潤)

記念講演



『子育て・子育ての基本について考える』と題して、遠藤利彦東京大学大学院教育学研究科教授よりご講演をいただきました。専門は発達心理学・感情心理学で、特に親子関係・家族関係と子どもの社会情緒的発達との関連に関心を持たれ、各地

の保育施設を巡回相談活動、保育者や関わりのある方々の研修などにも携わっておられます。

子育て・子育て基本の一つとしてアタッチメントを挙げられ、“アタッチメント＝危機に接した時に、あるいはそれに備えて（＝恐れ・不安・欲求不満等を経験した時に）特定の誰かにくっこうとすること。また、くっくことを通して自分が安全であるという感覚を得ようとする。身体的くっつき→気持ちの上でのくっつき（絆）安心感が得られるという見通しの大切さ→それがあからこそ自律的に探索ができる”乳幼児期にこれが育まれないと自己と社会性に著しくダメージがあり、自尊自立や人とうまくやっていく力が育たない。子どもは生まれながらに力強く生きていくものの、感情が崩れた時など「安全感の輪」（母や先生など）、戻れる処が必要です。

ヘッグマンもペリー就学前計画から乳幼児期の教育政策が、生涯発達の確かな土台作りとなり、経済や環境など良い社会の循環を生み出すことになるとし、子育て・子育てに立った一つの理想形はないものの、幼児教育をそれぞれの形として創造することで、人生を幸福にすることができる、と結ばれました。

（清野 英俊）

分科会レポート

【第1分科会】多賀城高崎幼稚園

公開保育コーディネーター養成講座

子どもの主体性を伸ばす実践の在り方

～一人ひとりが伸び伸びと表現するためには～

公開保育は、週1回行っているコーナー遊びで、ままごと、ブロック、大型積み木、製作等、生き生きとした表情で取り組む姿が見られました。公開保育を活用した幼児教育の質向上システム（ECEQ）により、クラス毎に設定した問



大通幼稚園理事長からは、質の向上で大切なことは①気づき②多様な視点③対話と内省（ふりかえり）④同僚性（互いに支え合っていく）⑤組織風土づくりだと教えていただきました。（小川 せつ子）



【第5分科会】利府おおぞら幼稚園

「やさしさ」と「思いやり」を育てる保育

～たてわり活動を通して～

第5分科会の公開保育では、豊かな自然の中で遊ぶ姿や開園当初から行っている「縦割り保育」を通して、「思いやり」や「やさしさ」を育てる保育の実践を見ることができました。



午後は、会場を移し、公開園の理事長先生からの園紹介、副園長先生からの公開保育についての説明の後



に、グループに分かれてファシリテーションの手法で討議を行いました。

最後に磯部裕子宮城学院女子大学教育学部教授から助言として、人との関

わりが少なくなっている今、子ども達が豊かな体験を通して成長していくプロセスを大切に保育していかなければならないというお話をいただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。（高橋 潤）

【第7分科会】東北学院幼稚園

「心豊かな子どもを育むための保育」

～自由遊びの中で育つ主体性・社会性を考える～

上記のテーマに子どもが自ら取り組んでいる自由遊びの中から、一人ひとりの興味・関心を探り、友達との関わりの中で、子どもの心の動きや育ちを捉え、自由遊びを充実・展開させる為の環境構成を考えた研究保育を行っていました。

午後からは、それぞれのファシリテーターによりグループに分かれ、問いに基づく話合いが持たれ、参加者全員で活発な意見の交換がなされました。



最後に、講師の東 義也尚絅学院大学総合人間科学部教授には、子どもの隠された可能性や意欲への信頼が



保育の出発点であることを改めて教えていただき、先生のギターの伴奏で「子どもの世界」他3曲ほど合唱し閉会しました。（関 澄子）

【第8分科会】八幡花園幼稚園

食べる力を育む保育

～栽培を通して作物の生長や収穫の喜びを知るために～

本分科会では公開保育終了後、本園独自のスケジュールで進行しました。

午前中は年少・年中・年長一クラスずつテーマに沿って年齢別の発達に応じて公開保育を行いました。その後遊戯室に移動し、4月から半年間の野菜に係わる活動をそれぞれの学年で、発達段階に応じてパワーポイントを駆使して発表しました。午後12時30分から昼食に併行してファシリテーションに向けて準備をしました。



午後1時40分から1時間ほどファシリテーションによる質疑が行われた後、それをまとめてグループ発表がありました。続いて助言者の畠山英子東北福祉大学教育学部教授から

食育は短期的には評価されにくい、幼児期の食体験・食行動はその後に大きな影響を及ぼすと明快なお話をいただきました。



ファシリテーションによる研修は、当初の意図の通りキャリアにかかわらず誰もが意見を述べることができ、多くの意見を共有できました。（鎌田俊昭）

【第10分科会】認定こども園遠山幼稚園・遠山保育園

保育の計画と実践・評価について

～教育・保育の良さを考える～

第10分科会の公開保育では、主に3～5歳児クラスの自由あそびの様子を見学させていただきました。

室内では、温泉屋さん、電車ごっこ、キャンプごっこなど夏休みに経験



してきた再現あそびをじっくり楽しむ姿が見られました。午後の講義では、子どもの主体性を育むには、好



きな遊びを通して自由に展開できる環境が必要で、そのための日々の保育の重要性を再確認しました。

（高橋 潤）

養成校との懇談会

さる、6月30日に仙台ガーデンパレスにおいて各養成校13校（宮城10・福島2・山形1）と宮私幼役員13名が出席して懇談会が開かれました。

冒頭、村山理事長より日頃からお世話になっている御礼と実習や処遇など、養成校と幼稚園・認定こども園を取り巻く様々な諸問題があるが今後とも改善をしていきたいことなどを話し、より良い人材育成とより多くの学生に幼稚園・認定こども園を志望して欲しいと挨拶がありました。

引き続き養成校を代表して磯部裕子宮城学院女子大学教育学部教授より、実習等学生の受け入れと指導に対し謝意をいただき、今年は幼稚園教育要領の改訂時期でもあるので、今後も綿密に人材を育てていきたいことなどご挨拶をいただきました。

宮私幼から、『平成28年度ようちえん白書』を配布し、昨今の幼稚園・認定こども園を取り巻く現況、新制度に関することなどを説明しました。また、実習に関わる指導案や日誌などの書き方や在り方について再考したいことや、実習生にも幼稚園教諭の楽しさやりがいを伝え育てていきたいことなど研究委員会より話がありました。また、併願や内定の取り消しがあり苦慮したこと、短期のアルバイトなどで不足を補っていることなどの実情が述べられました。

養成校からは、傾向として県内の幼稚園・認定こども園に高割合で就職している。幼稚園などで実習を経験してやりがいを見出している。ネットワークで求人を知らせたり、直接声掛けや就職指導をしている。併願をしないようにしている。実習・面接経験者のファイルがあり、園を把握しているようである。見学等を活用し、保育観や環境・職場の雰囲気重視している。また求人の時期として9・10月が望ましいと話されました。

他にも活発に話題が展開し、養成校と宮私幼・各園とも緊密に連携していく事を確認して閉会しました。

（清野 英俊）

新園長紹介

認定こども園 福聚幼稚園・ふくじゅ保育園

園長 関 澄子

今年の4月から、学校法人福聚幼稚園(幼保連携型)認定こども園 福聚幼稚園・ふくじゅ保育園の園長に就任いたしました。



福聚幼稚園の認定こども園は、平成27年度から新制度に移行し現在に至っております。

認定こども園発足当時は、何かと分からないことばかりでしたが、今年で3年目ということもあり、どうにか軌道に乗りつつあります。しかしながら、事務の仕事の繁雑さに加えて、職員の配置や職員不足など様々なことが日々起きております。

その中で、私の任務はと申しますと、それは「こどもにとって何が最善のこととなるのか」を考え、その保育に向かって職員みんなが力を合わせ、日々園長として、働きやすい環境を整えていくことが大切であると思っています。また、子ども一人ひとりに寄り添い、丁寧に教育・保育を行うことが出来るよう努力をしていくことが私の使命ではないかとも思っています。

この幼稚園・保育園に通うことがうれしい、楽しいと言われるようなワクワク、ドキドキするような園になるよう工夫し、教職員が気持ちを一つにして仕事出来るよう、気張らず、焦らず、一歩一歩、歩んでまいりたいと思っています。

まだまだ努力しなければならないことは、たくさんありますが、時代のニーズに対応する柔軟な心とその場に満足することなくさらに精進し、常に新しいことに目を向け、子ども達のために、教職員と一緒に、共に願い・共に寄り添い・共に歩む保育を展開し、励んでいきたいと思ひます。

これからも、皆さま方のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

お人形社幼稚園

園長 新 延 雅 史

幼稚園の向かい側にある家の庭には、大きな桜の木があります。毎年新年度を迎える頃に花が咲き、新入園児を迎える時には桜吹雪が舞います。そういった見慣れた風景の春4月より、長年幼稚園に関わってきた私が園長の立場になり心新たにスタートいたしました。



お人形社幼稚園は、来年度創立65周年を迎える伝統ある幼稚園です。「やさしく強い子に」

「明るい世界を作る子に」この方針ねらいは、創立以来ゆるぎなく子どもたちの幸せを願い歩み続けてまいりました。そして歴代の園長先生方も、各々が幼稚園にとって大きな存在であり、私たちの精神的な支柱でもありました。私もそのような存在に少しでも近づいていけるように、日々の研鑽を重ねていきたいと思ひております。

人の生涯を考える時に、人と人とのめぐりあいによって、影響を受け運命を決定されることが多いのではないのでしょうか。子どもたちは、幼稚園から始まる学校という場では友だちとのめぐりあいがあり、先生とめぐりあっているいろいろな刺激を受け導かれ伸びていきます。更に社会に出て同僚上司とめぐりあい社会について学び、人として自立できるような人間に成長します。これをある人は『出会い』と言ひ、ある人は『邂逅(かいこう)』という言葉で表現しています。子どもたち、そして保護者の皆様が、幼稚園とのめぐりあいを良き出会いであったと思ひえるような幼稚園で今後も在り続けたいと思ひております。

皆様どうぞよろしくお願い致します。

幼稚園訪問記

幼な子とともに

しらとり幼稚園

〒983-0006

仙台市宮城野区白鳥 2-11-24

幼稚園園児数 70 名

(満3歳児1名、3歳児21名、4歳児27名、5歳児21名)

※平成29年5月1日現在

しらとり幼稚園 では

7月3日(月)に宮城野区白鳥団地にあるしらとり幼稚園を訪問致しました。

しらとり幼稚園は仙台新港・キリンビール工場の傍から七北田川堤防沿いに広がる閑静な蒲生地区住宅街の中にあります。

1. 東日本大震災について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、しらとり幼稚園の基盤である蒲生地区は壊滅的な被害を受けました。園舎や園庭も床上まで浸水し、園児は全員無事だったものの、帰宅後に津波により1名の尊い命が奪われました。園児たちの落ち着ける場所を確保しようと園舎園庭の復旧に努め平成23年4月11日には平成23年度の入園式を行なうことができました。その



橋本光一園長先生(左)、伊藤新一郎理事長先生(右)

の後、地域の皆様をはじめ多くの方々の多大なお力添えをいただき、平成29年度は70名まで園児数が増え、元気な声が響き渡っている今日です。

2. 特色

園敷地内に小規模保育園も併設し12名が在籍し園庭を共有したり、行事も共にしたりすることで異年齢児



との関わりや育ちが見られています。また、力を入れている事として自然観察と体験学習を取り入れています。園外では春秋の遠

足のほか年間5～6回の園外保育を計画し、感性を育て、好奇心を刺激し目で確かめ手で触れて喜びを味わうことで、教育目標でもある豊かな心情を育てています。体験学習としては農園があり春にはじゃがいも、

夏には大根、秋にはさつまいもを収穫し栽培体験を通して勤労の喜びを味わうとともに、感謝の気持ちを育てたいと考えてい



ます。体育教室を取り入れて能力の向上と集団行動の喜びや助け合いの心、約束を守り頑張りのある子どもに育てたいと考えています。また、英語教室では毎週外国人の先生と歌ったり踊ったり満面の笑みを浮かべながら自然な姿で英語を口にしており、小さな外国人が「しらとり幼稚園」から誕生することを楽しみにしているところです。

3. 保育時間・預かり保育

○平日 7:30～18:30

○土曜日 7:30～18:30

○長期休業日 7:30～18:30

保育終了後に遊びを中心とした「預かり保育(ぞうさん組と呼称)」を月曜日～金曜日に実施しています。

4. 給食について

月・水・金……おたのしみ弁当

火・木……弁当持参

5. 未就園児教室

入園前の小さな子どもさん達の教室があり(通称:ぴよちゃんくらぶ)集団生活に慣れ、お友だちと触れ合う良い遊び場になっています。



6. バス送迎

現在2台のバスで園児の送迎をしています。



(清野英俊・鎌田俊昭)